

2020  
10月

Sasai ラボ

発行/佐佐井株式会社  
北九州市小倉南区上曾根新町 2-25  
☎093-472-1335  
FAX 093-472-1790  
http://www.bf331.com

## バター 業務用低迷で在庫増

農水省は 25 日、バターの 2020 年度の輸入枠を 1 月の当初計画より 6000 トン縮小し、1 万 4000 トンにすると発表した。新型コロナウイルス禍で国産生乳のバターへの仕向けが進んだが、業務需要の不振で国内在庫が積み上がっていることを踏まえた。バターの輸入枠の縮小は、乳製品輸入の国家貿易枠を設定した 17 年度以降初めて。同省は、実需者に輸入品から国産への切り替えを促している。

同省は、枠を削減しても年末の最需要期には安定的に供給されるとの見通しも示した。「従来輸入品を使っていた実需者へ、国産の使用を促していく」（牛乳乳製品課）とする。

新型コロナウイルス禍で 3~5 月に業務用の牛乳や生クリーム需要が大きく減ったことで、生乳が保存の利くバターと脱脂粉乳の製造に仕向けられた。

バターは業務用の比率が 8 割弱と高く、一部は消費が好調な家庭用の増産に振り向けられたものの、外食や洋菓子店、土産物店などの不振で全体の消費が大きく低迷している。脱脂粉乳は、7 月末の在庫が 8 万 5000 トンに上り、バター同様に積み上がっている。しかし、輸入枠は 5 月時点で 750 トンへと大幅に縮小しており、今回は据え置くとした。

—日本農業新聞 2020.9.26—

## そごう・西武

### 西武大津など4店閉鎖

セブン&アイ・ホールディングス (HD) 傘下のそごう・西武は 8 月 31 日、西武大津店 (大津市) やそごう西神店 (神戸市) など 4 店舗を閉鎖した。郊外型ショッピングセンターやネット通販に消費者が移り、販売が低迷していた。閉店後の用途が決まっていない施設もあり、今後は街づくりの観点からも店舗跡の活用が焦点となる。

神戸国際大学の中村智彦教授は「百貨店というビジネスモデルは限界に来ている。規制緩和で郊外に大型ショッピングモールが進出し、週末の買い物は中心市街地の百貨店ではなくなった」と語る。特に地方百貨店は「富裕層を対象とした外商が売上高の半分を占めていたが、地方経済の衰退でその需要が縮小している」と指摘していた。

—日経 MJ2020.9.4—

## 大戸屋従業員、不安広がる

### コロナ禍、TOB成立

外食大手のコロナ禍による大戸屋ホールディングスへ敵対的 TOB (株式公開買い付け) が成立した。発行済み株式の 46.77% を握ったコロナ禍は大戸屋を傘下に収める公算だが、強攻姿勢を目の当たりにした大戸屋の従業員には不安が広がる。コロナ禍は 7 月に突如大戸屋の TOB を発表。大戸屋の現経営陣の刷新を求める株主提案が否決された株主総会からわずか 2 週間後の出来事で強硬な姿勢を印象づけた。

一方、大戸屋の 2020 年 3 月期は 11 億円の最終赤字で、業績の低迷が止まらない。長時間労働が常態化するなど過酷な職場環境が指摘されてきた。大戸屋は友好的な買い手となるホワイトナイト (白馬の騎士) を探していたが、支援の取り付けは最後までできなかった。

流通サービス業は現場を支える従業員の創意工夫や士気の高さが、競争力の源泉のひとつとなっている。外食の異なる業態を買収しながら成長してきたコロナ禍が大戸屋のような定食チェーンを傘下に入れるのは初めて。強者の論理を背景にした支配か、対話か。大戸屋を成長の軌道に戻すためのコロナ禍の手腕が注目される。

—日経 MJ2020.9.11—

## ■相模屋食料 「BEYOND TOFUBAR」

「伝統食品の豆腐を進化させる」を合言葉に、次々とヒット商品を生み出している相模屋食料が「BEYOND TOFU AR」ブランドから新商品を発売。プロテインタイプの BEYOND TOFUBAR は、5 月にセブン-イレブンで試験販売を始めるや否や、「当初予想を上回る売れ行き」(相模屋食料)。7 月には販売店舗を 1 万 2000 店舗規模に拡大するなど売り上げは絶好調だ。

2018 年に発売された BEYOND TOFU は、豆腐に発酵技術を用いることで、乳製品を使用せずに豆腐にチーズのようなねっとりした食感を持たせた画期的な商品だ。

—日経トレンドィ 2020.10 月号—

